

野外講座安全チェックリスト兼ヒヤリハット報告書(ヒヤリハットなしの場合)

		下見実施日	年月日	本番実施日	年月日	
行事名:		作成者	チェックリスト	安全担当		
			ヒヤリハット報告書	チーフ講師		
	チェック項目(該当項目のみ○をつける)	対応・準備(必要に応じ記載)			ヒヤリハット	
動物	ヤマビル	ハチ	マムシ	蚊	マダニ	なし
	その他(具体的に)					
植物	ウルシ	トゲ	枯れ枝	倒木	落枝	なし
	木の根っこ 苔 その他(具体的に)					
地形	崖崩れ	傾斜地	滑り易い場所	落石	渡渉	なし
	迷い易い分かれ道等 その他(具体的に)					
気象	雨	霧	雪	強風	台風	なし
	熱中症 落雷 その他(具体的に)					
スタッフ	救急セット		FICの旗			なし
	ホイッスル	ポイズンリムーバー	懐中電灯			
持物	登山靴底補修キット 事故報告書兼事故証明書					なし
	講師リスト(家族緊急連絡先を含む) その他(具体的に)					
参加者	年齢	持病	アレルギー	服装		なし
	行動パターン 登山の場合雨具必須 その他(具体的に)					
その他	水場	トイレ	駐車場	車道横断		なし
	その他(具体的に)					
救急病院:						

注意1. 下見終了後、安全担当者は野外講座安全チェックリストを遅滞なく作成し参加スタッフにメールして共有化を図る。
 注意2. 下見の際、万一道路損壊、崖崩れ、頭上の落枝等の危険を発見した場合には必ず速やかに管理義務者に通報し危険の除去を依頼する。
 注意3. 安全・保険担当幹事は留意事項の有無にかかわらず点検した旨、講座チーフ及び安全担当者に返信する。
 注意4. 本番終了後、ヒヤリハットに該当することがなければチーフ講師は本番実施日のみ太字で書き、野外活動実施報告書と一緒にMLに送信する。その場合右側のヒヤリハット報告書は記載しない。

ヒヤリハット報告書(FIC全活動共通)

記入者 (チーフ講師)	
記入日	年月日
行事名	
1. ヒヤリハットの分類	
チェック項目(該当箇所に○をつける)	
【場面】	A:野外活動中(観察会など) B:クラフト等 C:森林整備等 D:その他
【起因】	a:動物 b:植物 c:地形・気象等 d:道具 e:リーダー f:メンバー g:その他
2. 事実関係	
	発生日 年月日 発生時刻 頃 【発生場所など】
3. ヒヤリハットとなった状況・原因	
	【備考】
4. 再発防止策	
5. その他(将来に参考になることなど)	

注意1. 野外活動のチーフ講師はヒヤリハットに該当することがあれば左上の「野外活動安全チェックリスト」の『ヒヤリハットなし』を『あり』に書き、その右側に事実の詳細などを記入し野外活動実施報告書と一緒に注意2. 下見結果をもとに事前にとっていた対策や臨機応変その場でとった対策により未然に事故を防げた事例も合わせて報告する。
 注意3. 野外講座以外の活動でヒヤリハットに該当することがあれば上記ヒヤリハット報告書のみ記載しMLで送信する。